

## 福島県立医科大学医学部ファカルティ・ディベロプメントに関する指針

福島県立医科大学（以下、「本学」）医学部は、その使命「高い倫理観と生涯にわたる探求心を持つ医師を養成し、世界に知を発信する」に基づき、教育方針を「（１）自分の言動に責任を持ち、他者の幸福のために学び続ける態度、（２）与えられるのを待つのではなく、多角的に自ら考え、行動する姿勢、（３）国際的・社会的視野を持ち、遭遇した課題や経験から得た知見を社会に還元する意欲を有する学生を育む」と定めている。本学は、このような人材を育成するための質の高い教育を行う責務を負う。そのため、教員の資質・能力開発及び教育内容や方法の開発・改善を組織的かつ継続的に行い、教育の実質的な改善につなげていく。

### （目的）

この指針は、本学医学部におけるファカルティ・ディベロプメント（FD）（以下、「FD」）を推進していくための基本事項を定め、教育の質の向上と学生支援の円滑な遂行を図ることを目的とする。

### （定義）

この指針において、FD とは、教育の質の向上並びに学生支援を促進するために教員の資質・能力開発及び教育内容や方法の開発・改善を図る研修等の自発的な取り組みを指す。

### （教職員及び部局の責務）

本学の教員は、積極的に FD 活動に取り組む。１年に１回以上の FD 参加は昇任要件の一つである。

部局等は、所属教員の FD 活動への参加を促す。また、教育活動の中から研修すべき課題を把握し、FD 委員会に提案する。

### （FD の企画）

FD は、教育統括会議に参加する各教育関係部署が企画するが、その他の部署の企画及び他学部との共同企画も妨げない。

### （FD の実施と支援）

FD は、FD 企画部署（者）が実施するのを基本として、医療人育成・支援センター及び事務局等は FD 活動に対して必要な支援を行う。

### （FD 開催の内容）

教員が表１に示す能力を醸成強化できるよう、適宜テーマを設定して実施する。

### （FD 開催の手続き）

開催に際しては、企画部署（者）が開催要項と実施報告書を医学部長へ提出する。

表 1. 教員が備えているべき能力（福島医大版）

\*若手教員とは助手/助教、中堅教員は講師/准教授、管理者は各科目のシラバス上の責任者及び教授を指す

| 教員が備えているべき能力   |                                        |                                                                      | 若手 | 中堅 | 管理者 |
|----------------|----------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|----|----|-----|
| 大項目            |                                        | 小項目                                                                  |    |    |     |
| A. 向上すべき資質     |                                        | 1 本学の使命、教育方針、学習成果の理解                                                 | ◎  | ◎  | ◎   |
|                |                                        | 2 多様性を尊重する人権意識と倫理観                                                   | ◎  | ◎  | ◎   |
|                |                                        | 3 学生のロールモデルとなる職業観と人間性                                                | ◎  | ◎  | ◎   |
| B. 教育実践能力      | (1)授業実践能力 (teaching)                   | 1 本学の使命・理念及び教育目標を理解し、国内外の医学教育の動向を理解している                              | ○  | ◎  | ◎   |
|                |                                        | 2 科目の掲げる学習目標達成に向けて、他授業との関係を考慮しながら授業の到達目標を設定できる                       | ○  | ◎  | ◎   |
|                |                                        | 3 多様な授業運営方法を理解しており、目標到達に向けて適切な方略を選択し、授業を企画できる                        | ○  | ◎  | ◎   |
|                |                                        | 4 学生がリアリティを感じ主体的に学ぶよう、自らの授業を運営できる                                    | △  | ◎  | ◎   |
|                | (2)学習者評価能力 (assessment)                | 1 評価したい能力ごとに、基本的な評価方法の長所と短所を理解している                                   | ○  | ◎  | ◎   |
|                |                                        | 2 妥当性及び信頼性の高い評価方法を選択し、評価のための課題と評価基準を作成できる                            | △  | ○  | ◎   |
|                |                                        | 3 基準に則って、公平に評価を実施できる                                                 | ◎  | ◎  | ◎   |
|                | (3)カリキュラム開発能力 (curriculum development) | 1 コンピテンシー達成に向けて、他領域との関わりを考慮しながら、担当する教育プログラム（科目）の目的と期待される能力を具体的に記述できる | △  | ○  | ◎   |
|                |                                        | 2 時代・社会の動向を考慮し、学習上のニーズに応える教育プログラムを、構築することができる                        | △  | ○  | ◎   |
|                |                                        | 3 担当する教育プログラムの効果を検証するために必要な情報を収集し、改善につなげることができる。                     | ○  | ◎  | ◎   |
| C. コミュニケーション能力 |                                        | 1 学生の人格を尊重しながら、学生の話を聞き、助言できる                                         | ◎  | ◎  | ◎   |
|                |                                        | 2 講座内のメンバーと協働して担当する教育の質の向上に資することができる                                 | ◎  | ◎  | ◎   |
|                |                                        | 3 他領域の教職員や実習施設と連携・協働できる                                              | ◎  | ◎  | ◎   |
| D. マネジメント能力    |                                        | 1 診療・研究の遂行に必要な基本的ルールを理解し、学生を指導できる                                    | ○  | ◎  | ◎   |
|                |                                        | 2 情報の管理・開示を適切に判断し処理できる                                               | ○  | ◎  | ◎   |
|                |                                        | 3 自らの診療・研究・教育・管理運営の時間管理ができる                                          | ◎  | ◎  | ◎   |

◎：どのような状況の変化に際しても質の高い実践能力を発揮できる

○：通常業務の中で実践できる

△：できることが望ましい